

## 防災情報を住民へ伝達する簡易な無線システムのための 周波数有効利用技術に関する調査検討会

### 開催趣旨

近年、大雨などの自然災害が頻繁に発生しており、災害が発生した際に迅速かつ的確な避難行動をとるため、市町村から発せられる災害情報や避難情報を住民に確実に伝達する必要性が高まっている。

防災行政無線は、災害時の情報伝達手段として大きな役割を担っているが、天候等によっては屋外拡声子局からの音が聞こえづらいという住民からの要望があり、きめ細かく防災情報を行き渡らせるために住居内に戸別受信機を配備することが有用とされている。その方策として、同報系防災行政無線(デジタル方式)と汎用技術を採用した他の無線方式を用いた戸別受信機との連携を検討し、戸別受信機の低廉化を図り整備を促進するための検討が求められている。

本調査検討会では、防災情報を住民へ伝達する簡易な無線システムとして、400MHz 帯の周波数を活用した無線方式の電波伝搬特性等の実証試験を行い、当該周波数及び隣接周波数帯における他のシステムとの共用検討を進め、周波数割当に資するための調査検討を実施するものである。